

水産業強化支援事業事後評価報告書

		神奈川県
政策目的	地区内における漁業者の経費削減	
政策目標	経営構造改善目標	整理番号 30-31
事業実施主体	中郡大磯町	
実施地区名	大磯地区	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	H30	R5
交付金額	54,135,000円	
事業計画の内容	荷捌き施設・鮮度保持施設の整備	
評価	成果目標	荷捌き施設（漁労作業用小規模市場）を整備し、労務費、燃料費及び氷購入費等経費を11,398千円/年削減する。 施設整備前：61,530千円/年 施設整備後：50,132千円/年
	現状値	51,313千円/年（令和5年度末時点）
	目標値	50,132千円/年（令和5年度末）
	（1）現状値の説明	旧二宮漁場の漁業者の労務費、燃料費及び大磯二宮漁業協同組合の漁業者の氷購入費
	（2）地域への経済効果（ハード事業のみ）	施設整備に伴う拠点港の集約や自営製氷機の導入により、漁業者の労務費や燃料費、氷購入費の経費が削減されたことで、漁業者の労働環境の改善や所得向上が図られ、生産基盤が強化された。
	（3）所見	労務費に係る作業時間の短縮が計画どおりに進捗しなかったことにより、目標値には達しなかったものの、計画策定時の61,530千円/年から51,313千円/年となり、10,217千円/年削減し、成果目標の11,398千円/年削減に対して89.6%の達成率であった。
（4）評価機関の意見等	-	
今後の改善方向等に関する分析	漁業者の生産基盤が強化されことにより、労働環境の改善など徐々に効果が反映されてきている。今後も、労働時間短縮を進めていくことにより更なる労働環境の改善に取り組むとともに、燃料費及び氷購入費の削減にも併せて取り組んでいきたい。	